

たいしやう しやうわ
大正～昭和のはじめのころの学校

子どもたちみんなが通う義務教育ぎむきやういくとなって、1923年(大正12年)に、
笈川尋常高等小学校じんじやうこうとうと勝常尋常高等小学校こうができました。このころの校舎は、木造2階建てで、屋根はかわらぶきでした。窓はガラス戸になり、そのため教室は明るくなりました。



笈川尋常高等小学校(大正のころ)



勝常尋常高等小学校(昭和のはじめ)



そつぎやうせい
昭和7年度の卒業生



やがいしゃせい
笈川小(野外写生)



じゅぎやうふうけい
勝常小(授業風景)